

宇部貨物・青山社長 技術の継承にも注力

地域産業支え続ける

【山口】「当社は専門的な知識や経験が求められる業務が多い。ベテラン従業員が培ってきた技術を次世代にしっかりと引き継ぎたい」と話すのは、宇部貨物(宇部市)の青山祥氏。2023年5月の社長就任から丸3年、業界の大変革期にあっても、冷静沈着に会社の指揮を執っている。

タイヤ販社を経て10年に家業に入り、直後から管理部門に従事したと



するきっかけになった」と振り返る。その後、部長職から役員となり物流の現場管理、顧客対応など経営全般を経験してきた。

環境作りの一環で、健康経営優良法人に3年連続で認定された。

同社は1949年に前身の会社が創業したが当初から、安全を会社運営の基盤に位置付けている。「安全は教育やパトロールはもちろんだが、労働時間をしっかりと管理し無理な運

行や作業をさせないことも重要」。事故が起きた時には人車両・整備、環境などさまざまな視点で原因を分析し、データを蓄積。1つの事

業界が置かれた状況が厳しくても「安全と品質が何より大事。長く取引がある大手化学メーカーをはじめ地域から信頼される会社でありたい」と力を込める。

故を全員のことと捉え、会社全体で再発防止する体制を構築した。

従業員も多くは「液もの」の化成

(伊藤由貴)